

恋人の聖地 石彫刻で飾る

小松・粟津温泉 総湯周辺などで25点

小松市の粟津温泉商交会は30日から、小松産の石で作った彫刻で温泉街を飾る「小松の石彫刻展」を開催する。温泉街が「恋人の聖地」に認定されていることにちなみ、総湯周辺など3カ所に、カップルや結婚など恋人をテーマにした25点を飾る。温泉街の回遊性を高めて宿泊客や住民に鑑賞を楽しんでもらう。粟津温泉と日本遺産「小松の石文化」の魅力を伝える機会にする。

彫刻展開催に当たり、同会 人の聖地」をモチーフに制作は金沢市民芸術村を中心に活動した。

動く「石川の石を彫ろう会」 雌雄のかわいらしい魚がく に協力を要請したところ、県 ぐるぐる回るオブジェや、カッ 内の彫刻愛好家約20人が「恋 プル用にペアになった椅子、

ウェディングロードを表現したもののなど、ユニークな作品がそろう。いずれも、小松市内で産出された灌ヶ原石や観音下石、大杉石を使用している。

彫刻展は11月12日までで、総湯のほか、足湯、ますの衣料・花店の各周辺に作品を並べる。

粟津温泉商交会は、温泉街の中心部にある旅館跡地で計画が進められている交流広場でも、来年以降の彫刻展開催を検討している。2018年に迎える開湯1300年に向け、温泉街の盛り上げにつなげていく考えだ。

岡本邑夫会長は「粟津温泉と小松の石のコラボレーションで、湯の街を活気付けたい」と話した。

日本遺産、湯の街PR



小松の石を使った彫刻の作品展が開催される粟津温泉総湯

小松市粟津町

30日から商交会